

仙台城 Now! Vol.24

～仙台城跡周辺の動植物について～



ニホンカモシカ

仙台城跡では、現在「史跡仙台城跡整備基本計画」に基づき、植生修景整備を行っています。その整備事業と並行して、仙台城跡には現在どんな植物があるのかを調査しています。樹木の調査では、樹木の種類、大きさ、健康状態を調査しました。草本（花や草等）調査では、どのような種が生息しているのかを調査しました。また、来年度には動物の調査を実施予定です。これらの調査成果を参考にしながら自然環境と調和したお城となるよう、整備を進めています。



フジ (5月上旬撮影)

～植物編～

【樹木】：モミ、スギ、ケヤキ、イタヤカエデ、シロダモ、サクラ等
【草本類】：カタバミ、イタドリ、ウバユリ等

令和3年・5年に樹木の調査、令和6年に草本類の調査を実施し、様々な種が生息している事が分かりました。春は桜、夏は新緑、秋は紅葉と、季節の変化を楽しむことができます。特に草木が多く茂る春～夏は、登城路沿いや長沼・五色沼の周辺で多くの植物が観察できます。特に7～8月頃に咲く「ウバユリ」は、巽門登城路沿いに数多く植生しており見ものです！

また、仙台城の西側に隣接する東北大学の植物園は、都市近郊ではきわめて貴重な自然林であることから、国の天然記念物「青葉山」に指定されています。



モミジ (11月上旬撮影)

～動物編～

【生息する動物】：ニホンカモシカ、ニホンリス、トウホクノウサギ、ニホンツキノワグマ、ニッコウムササビ、イノシシ等
【観察された鳥類】：カルガモ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、オオタカ等

平成元年に自然環境調査を実施した際に、多くの哺乳類や両生類、鳥類が観察されています。季節によりますが、城内を散策していると、運が良ければリスが木に登る様子や、水辺ではカワセミ等の水鳥を観察する事もできます！ また、来年度には生態系に関する調査を実施予定です。調査結果も参考にしながら今後の整備を進めていきます。

目撃談

- ・中門石垣近くでキツツキを見た！
- ・リスが木に登る姿を見た！
- ・ムササビが飛んでいるのを見た！



コガラ (1月撮影)



キツツキ (9月撮影)



カルガモ (12月撮影)



ニホンカモシカは、「特別天然記念物」に指定されています！
→見かけた場合は近づかず見守って下さい！